

2024年1月9日

「NHK経営計画（2024-2026年度）」の議決を受けて

日本放送協会
会長 稲葉 延雄

NHK経営計画（2024-2026年度）が、本日の経営委員会で議決されました。放送法で求められている「民主主義の健全な発達に資する」ため、「情報空間の参照点」を提供すること、そして「信頼できる多元性確保」へ貢献することを経営の基軸として掲げ、ひいては日本はもとより、世界も含めて人々が平和で豊かに暮らせる社会の実現にNHKとして貢献していくために、次の3か年で取り組むことをしっかりと具体化できたと考えています。

今回の経営計画は、最も貴重な財産である人材にかける資源はこれまで通り確保しながら、番組やコンテンツの質と量はしっかり維持していくという、世界的に見ても例をみない独創的な内容となっています。昨年実施した受信料の1割値下げによって1,000億円規模の事業支出の削減を伴いますが、NHK全体としてその規模が縮小していくというものでは決してなく、むしろさまざまな形で新しい「公共的価値」を創造していく工夫を織り込んだ、非常に意欲的な計画と受け止めていただきたいと思います。

もちろん、それだけに簡単に実現できるものではないかもしれません。特に、「より確かで深い情報を知りたい」「もっと日常が豊かになる番組が見たい」という視聴者・国民の高い期待に正面から応えていくことは簡単なことではありません。だからこそ、役職員全員が日々たゆまぬ研鑽を積み、その創造性や生産性をいっそう発揮・向上させていくことによって、この経営計画や新年度予算・事業計画を着実に実行していきたいと思っております。